

超党派議連総会10月開催（予定シナリオ案）

～【船舶医療（病院船）の運用開始とその後の保有に向けて】～



EPS（原型輸送艦）

米国病院船の変化

高速

双胴船

搬送ヘリパット

長距離運行

Mercy vs 1/7 小型化



EMS（遠征型医療船）



EMSの新仕様（最新仕様）（2023年11月現在）

全長：361フィート（110メートル）

全幅：103フィート（31.5メートル）

喫水：15フィート（4.6メートル）

速力（満載）：18ノット以上

速力（シーステート5）：15ノット

航続距離：18ノットで5,000海里以上

運航：V-22、H-53、またはH-60 1隻

乗組員、医療班、航空班の定員：223名

コンセプト：本物から学ぶ

①船舶調査 米国ワシントンNIPO（Owens少将）訪問調査
スペック（高速船・双胴船・ヘリポート）（総トン数10,000トン）

* 比較調査：INCAT/HSV/オーストラリア訪問調査

②人材育成～SDMCサンディエゴ海軍病院&病院船マーシー船内教育

- ▶ 元SDMC/CEO/Dr.Roos元海軍大佐招聘/
 - ▶ 国内座学＋現地調査学習
- ▶ 目的：日本初の船舶医療マニュアル開発)

船舶医療の定義の明確化～災害対応医療船システム 幹部医療者研修プログラム案

①災害医療船の基本概念：

日本の地理的特性と災害リスクに基づく医療船活動を理解

②船舶医療と医療倫理

船舶特有の制約条件下での医療、医療倫理、安全管理、感染制御

③通信システムと遠隔医療支援：

遠隔診断支援と情報セキュリティ

④薬剤管理と医療材料供給体制：

船上薬局運営、災害時必要医薬品の理解

⑤船上医療チーム運用計画と訓練体制：

- a) 船内に乗船する医療従事者は予め/ファッションコード（白衣・術着）等、徹底を図る。
- b) 災害研究領域チームの乗船および共同訓練に参加し易い環境整備の徹底を図る。
- c) 操船責任者はa), b) 責任者とチームコミュニケーションの徹底を図る。
- d) 上記 a), b), c), の他に総括責任者1名、補佐2名（医療者1 + 研究者1）程度の指揮系統の徹底を図る。



現状評価：認知プロモーション不足

～病院船法律ができてもらえていない～

- ▶ 災害被災 47 都道府県知事は病院船法律を知っているか？
- ▶ 政治による所管組織の明確化と船舶救援のプロモーション
- ▶ 災害時海外から支援/その逆対応（海外への支援・人材教育）
- ▶ 縮小する人口減に備えた仕組みはあるのか？
- ▶ 船舶医療は災害時のシンボル～災害対応専門省庁は必須
- ▶ ドイツ・イタリア・ボランティア先進国との連携
- ▶ 米国・インドネシア・病院船保有先進国との連携
- ▶ 米国・オーストラリア高速双胴船建造国との技術連携 & 共同訓練
- ▶ 国連OCHA等との連携による日本発国際化モデルの構築

